

## 中国 5 県休眠預金等活用事業 2020

### 公 募 結 果

#### ■ 概要

選考結果	採択
団体名	特定非営利活動法人まなびデザインラボ
代表者名	本田 篤嗣
申請事業名 主題	学びをつなぐプロジェクト
申請事業名 副題	
エリア／テーマ	山口県 1) 生活または成長に困難を抱える子どもや若者の、居場所づくりや就学就労の支援につながる環境づくり
解決すべき社会課題	【領域】 1) 子ども及び若者の支援に係る活動 【分野】 ② 日常生活や成長に困難を抱える子どもと若者の育成支援
申請事業の概要	不登校を経験した生徒は、発達障害グレーゾーンの特性を持つ割合が多い。そのため、人間関係の維持が難しく、高校卒業後も収入が安定した仕事に就きづらい。そのため、親からの経済的自立ができない。 そこで、不登校生徒たちが独自の感性を生かし、体験から作品を作り出すクリエイターとなることや、高校卒業後はクリエイターとしての作品やスキルを使ってフリーランス・副業ができるようになることを目指し、以下の活動を行う。 ① 多様な体験活動 アウトドア、アート、プログラミング等を行い、生徒の得意分野を見つけると同時に感性を磨く ② フリーランス養成講座 実際にフリーランスで活動している講師が、生徒にビジネスの基礎知識を伝える。
事業実施地域	山口県周南市、下松市、光市、田布施町、柳井市
申請事業期間	2021年5月～2024年3月
申請助成額	8,500,000 円 【内訳】直接事業費 7,650,000 円、管理的経費 850,000 円

#### ■ 審査コメント

- ✓ 地域で取り残されないセーフティネットの機能となることに期待

- ✓ フリーランスとして学ぶ機会を提供するという取り組みは珍しく興味深い
- ✓ テーマとする課題の解決は申請団体だけで臨めるものではないと思うので、他の団体と連携できて活動を展開できれば面白い
- ✓ 色々な専門家が講師になる体験活動は素晴らしいと思う  
ただし、直接的な受益者が「フリースクール受講者の14名」というのは限定的では？  
(事業や予算規模に対する費用対効果に懸念)
- ✓ できればフリースクール在籍者に限らず、参加対象が広がれば公益性も増すと思う
- ✓ 「不登校経験した中学生の1割は正社員になれない」という課題の着眼点は素晴らしいが、フリーランスはハードルの高い就業形態でもあり、出口戦略が問題
- ✓ 課題解決=就業に向けた計画にもう少し具体性がほしいところ。